

なわとびの歴史 (I) — Boulder へ召喚された人々 —

by Nob Sato
March 24, 2022
Ver. 2.1

1. なわとびの始まりに関わった人々

1.1 Frank Prentup (1907 年 7 月 18 日カンザス州 Leavenworth 生まれ。1992 年 Boulder で没。85 歳)

- ・ 1925 年 ボクシングでの機敏さを高めるためになわとびを始めた。[1]
- ・ 1932 年 Kansas State University(当時 Kansas State Agricultural College)修士課程修了。在学中にフットボールと野球。卒業後、幾つかの高校でコーチ。[2]
- ・ 1937 年 彼が指導する運動選手のトレーニング手法としてなわとびを導入した。初期の跳び方は、普通跳び、開脚跳び、足の交差、交差跳びなど。[1]
- ・ 1938-1941 Manhattan High School でコーチと教員。[2]
フットボール、バスケットボール、陸上のヘッドコーチ。[1]
- ・ 1941 年 Jim Yeager から コロラド大学(CU) のアシスタントフットボールコーチのオファーを受ける。[2]
- ・ ニックネームは”Chief” これはインディアンの血筋のため [3]
ナイアガラ滝の東、オンタリオ湖岸のイロコイ族(Iroquois)のタスカローラ支族(Tuscarora) [2]
- ・ CU の野球チームで 1946 年から 1969 年まで、24 シーズン、ヘッドコーチ(HC) [3]
野球場 (現在はサッカー場) は、1977 年に彼の栄誉を称え、彼の名前が付けられた。
- ・ 同時に CU のフットボールコーチを 3 人の HC の下、1941 年から 1958 年まで務めた。[3][4]
- ・ 1971 年 “SKIP IT” をエキシビションチームとして設立。[1]
- ・ なわとび運動をフットボール選手、他の運動チームなどの運動部門へ、さらに一般体育教育に広めた。
[1]
- ・ physical education の assistant professor。1941 年から。1976 年(69 歳)で退職。[3]
- ・ なわとびを学校のフィットネス活動として始めることに貢献した。
- ・ 2015 年 CU Athletic Hall of Fame; 息子 Duke Prentup のスピーチ [2]

1.2 James(Jim) J Yeager (“Gentleman Jim”) (1909 年 2 月 2 日カンザス州 Chase County 生まれ。1971 年 5 月 17 日 Boulder で没。62 歳)

- ・ 1928-1930 Kansas State で defensive lineman, guard としてプレイ [5]
- ・ 1931 年 Kansas State University 卒 [5]
- ・ 1935 年 Fort Hays State University(HC), 1936 年 Iowa State University(line coach), 1937-1940 年 Iowa State University(HC) [5]
- ・ CU フットボール HC(1941-43,46-47) [5]
- ・ 1941 年に CU の HC に就任する際に、学友であった Prentup に CU のアシスタントフットボールコーチのオファーをする [2]

1.3 Eddie Crowder(1931年8月26日カンザス州 Arkansas City 生。2008年9月9日コロラド州 Lafayette で没。77歳)

- ・1950年代は University of Oklahoma(OU)で quarterback and safety [6]
- ・1960年代、70年代は CU で HC や athletic director(AD)(1965-)。1973年コーチ引退。[6]
- ・1963年-1973年 CU で HC(Mr. C が CU 在籍中はずっと HC)
- ・60年代後半、フットボールコーチの Eddie Crowder は Cendali の持久力向上のため、なわとびかスタジアム階段の昇降の選択を与えた。[7][8]

1.4 Richard Cendali (Mr. C) (1945年11月16日生)

- ・CU フットボールチームの center/linebacker [8]
- ・Eddie Crowder からなわとびを勧められる。Mr. C が 19歳の時。外は 20 インチの積雪、マイナス 20(°F)(と言うことは、1964/65年の冬) [9.1][10]
- ・フットボールコーチ (Eddie Crowder) は、15分のなわとびか 1時間のスタジアム階段の昇降の選択を与えた。フットボール選手(Mr. C)は、なわとびは女の子の遊びと、当然ながら階段の昇降を選択。雪が降るまでは問題無かった。そして、ロープを持った。ただ跳ぶのは面白くなかった。その後、交差跳び、サイドスウィング、2重跳びなど多重跳びを始め、面白さが増した。[11]
- ・1年程で Cendali は、なわとびをマスターし、上手く、続けて跳べるようになり、フットボールのシーズンとその後も跳んだ。[8]
- ・Colorado (たぶん CU) の大学院で教育学を学んだ。[7]
- ・1970年(24歳) Boulder の high school には職のポジション無く、Aurora 7 Elementary School で就職。すぐに子供達と一緒に時間の楽しさを知った。子供達の授業の中に協調性、持続性向上のために、なわとびを取り込んだ。[7]
- ・1975年 Douglass Elementary School に着任 [7]
- ・私(Mr. C)になわとびを始めさせたのはフットボールコーチだが、skipping の技やフットワークを教えてくれたのは(Prentup)教授 [7]
- ・1976年 Skip Its 設立 [12]
- ・International Rope Skipping Organization(IRSO)を設立 [7]
そして、第1回のキャンプをヨーロッパ、そしてアジアからの Skipper を集めて実施 [7]
(4.2を参照：1987年 Mr. C は IRSO Director と署名。International Rope Skipping Championships の開始と同時期とすると、1982年に IRSO を設立と推定される。)
- ・2011年5月6日 Rich Cendali, retirement celebration Douglass Elementary School[10]
1975年の着任以降、36年間 Douglass Elementary School で教職。

2. Skip-Its

2.1 設立と活動

- ・1971年 Prentup が CU Boulder 校に女性のなわとびチーム結成(SKIP IT) [10]
- ・1975年 Mr. C, Denver での physical education conference に出席し、大学体育教授そしてなわとびコー

チの Prentup がチームスポーツとしてのなわとびについて発表。Prentup はこの構想を 1937 年に導入していた。[7][8] Prentup の小学生では、なわとびの高度な技を習得して跳ぶことはできないだろう、とのコメントに Mr. C は反発。[7][10]

- Douglass に戻った Mr. C は直ぐに、子供達に洗練された手順を教え始め、新たな技を創作させた。[8]
- 1976 年 Mr. C が Douglass Elementary School になわとびチーム結成(Skip Its) [12]
- American Heart Association の全米チェアマンの支援があり、1976 年に'Jump Rope for Heart'キャンペーンをコラボした。[7] この活動を通し、デモンストレーションチームとして、全国を、そしてカナダを訪れた。[7]
- 1980 年 11 月 Skip Its のチームがイリノイ州シャンペーン市近郊の学校でデモ。私は、その新聞記事を見つけた。
- 1984 年 6 月 'SKIP IT' international rope skipping team, Boulder Colo. USA の幡が壁に貼られている。[13]
- 2007 年 video '30 years of the Skip-Its with Mr. C' を Stephanie が Mr. C への贈り物として作成
- 2011 年 5 月 11 日 retirement reception, 36 years at Douglass, video の part 1 [9.2]の original kids の 3 人目が Matt Davis
- Rich Cendali is retiring の 3'30"の所に"Dr. Matt Davis はアメリカで最初に 5 回旋を跳んだ人"の紹介 [10] (私が 1981 年 1 月 6 日に Douglass Elementary School で会った Matt)
- Mr. C の事務所ドアに"Skip it TM BOULDER, COLORADO" の掲示あり [10]

2.2 日本訪問

1986 年[8]([9.1]の中に琉球放送(RBC)の映像あり)日本各地を訪問し (関東でもテレビ放映あり)、デモンストレーション

3 なわとび世界大会

- 1982 年 第 1 回 International Rope Skipping Championships(下記の第 3 回、第 6 回から推定)
- 1985 年 6 月 International Rope Skipping Camp and Championships (鈴木さんへ贈られた盾)
- 1986 年 6 月 20-27 日 International Championships in Greeley, Colo. [8]
- 1987 年 7 月 6th International Rope Skipping Camp and Championships (Greeley)
- 1988 年 6 月 28 日 最多人数 181 人跳び(コロラド州グリーリーでの国際縄跳び競技会で)(ギネスブック 1989 年日本版) [14]
- 1989 年 6 月 30 日 最多人数 200 人跳び(コロラド州 Greeley での International Rope Skipping Competition で)(ギネスブック 1991 年英語版) [14]
- 1990 年 6 月 28 日 最多人数 220 人跳び(コロラド州 Greeley での International Rope Skipping Championships で)(ギネスブック 1991 年英語版) [14]

4. Boulder とその近郊へ

4.1 Nob の訪問

- ・ 1981 年 1 月 5 日-7 日 Mr. C 宅に 2 泊させてもらった
6 日 Douglass Elementary School Matt と会った。Mr. C が Matt が一番上手な jumper と紹介してくれた。[9.2]の video に出てくる Dr. Matt Davis にほぼ間違い無し

4.2 鈴木勝己の訪問

- ・ 鈴木さんは Boulder へ 1984,1985,1987 年に行っていた。
- ・ 第 3 回国際競技大会アメリカ・コロラド大学にて(鈴木式ロープの挿入紙：原文のまま)
(3rd International Rope Skipping Championships だとすると、1984 年 6 月)
([9.1]の 4:00 の所に鈴木さんの 4 重跳び映像、その直後に Matt の 5 重跳びの映像。)
- ・ 1985 年 6 月 International Rope Skipping Organization からなわとび貢献に対し、盾を授与
- ・ 5 回旋 10 回の記録証には、6th I.R.S. Championships, Northern Colorado Univ., July 2nd, 1987, Mr. C の International Rope Skipping Organization の Director としてのサインあり [15]
- ・ University of Northern Colorado は、Boulder の北東約 70km の Greeley にある。

4.3 SADA の訪問 [16]

- ・ 2001 年 7 月 6~12 日 2001 Pan-American Open Championship, U.S. Grand Master Trial & Rocky Mountain Camp に参加。会場は、Greeley の University of Northern Colorado。主催は、United States Amateur Jump Rope Federation。

7 月 8 日が Pan-American Championship

これは、下記の訪米の一環として参加したもの。

- 1) 6/22~6/26 フロリダ(Orlando, Florida)で全米選手権を観戦
- 2) 6/26~6/29 テキサスで指導スタッフ対象のワークショップに参加
- 3) 6/30~7/5 Southern Camp (テキサス Huntsville, Texas)に参加

5. 結論 (推定事項を含む)

- ・ Frank Prentup は 1937 年からなわとびのチームスポーツ構想を持っていた。
- ・ 1941 年、Jim Yeager が CU のフットボール HC に就任する際に、Kansas State University で学友だった Frank Prentup に CU アシスタントフットボールコーチをオファーした。
- ・ Eddie Crowder は、Mr. C が所属するフットボールチームの HC だった。Crowder は Prentup が、CU の体育教育で、なわとびをフィットネス運動として取り入れていることを知っていた。Crowder は、19 歳の Mr. C になわとびを勧めた。(1965 年)雪深い時期に、Mr. C は、なわとびを始めた。

参考：

- [1] (本) Skipping the Rope FUN AND FITNESS FOR ALL AGES NEW EDITION by Frank B. Prentup, 1963,1980
- [2] <https://www.youtube.com/watch?v=0SsedFGSDvs>
Frank Prentup : 2015 年 CU Athletic Hall of Fame, 2015/12/03 speech by his son Duke Prentup
- [3] <https://cubuffs.com/honors/cu-athletic-hall-of-fame/frank-prentup/75>
CU Athletic Hall of Fame : Frank Prentup
- [4] <https://cubuffs.com/sports/2015/5/11/210080910>
Frank Prentup, Colorado Athletic Hall of Fame Frank Prentup, Coach (Baseball/Football)
- [5] https://en.wikipedia.org/wiki/James_J._Yeager
- [6] https://en.wikipedia.org/wiki/Eddie_Crowder
- [7] <https://ropeskippingsport.org/richard-cendali-interview/>
19 July, 2020 Richard Cendali Interview by IRSO
- [8] <https://vault.si.com/vault/1985/12/23/the-skip-its-learned-the-ropes-and-jumped-their-way-around-the-world>
DEC 23, 1985 THE SKIP ITS LEARNED THE ROPES AND JUMPED THEIR WAY AROUND THE WORLD
- [9] <https://www.facebook.com/richcendali/>
[9.1] 30 years of the Skip-Its with Mr. C, made in 2007 by Stephanie as a gift to Mr. C!
[9.2] Part one of (retirement) reception
- [10] <https://www.dailycamera.com/2011/04/20/grandfather-of-jump-rope-retiring-from-boulder-school/>
その中の
Rich Cendali is Retiring YouTube <https://www.youtube.com/watch?v=NFhsjIXgcsw> 2011/04/21
- [11] <http://fisac2020.weebly.com/rope-skipping-history.html>
fisac-irsf rope-skipping-history
- [12] <https://www.youtube.com/watch?v=NcteUJaM-U8>
2009/05/02
- [13] Mr. C が鈴木さん宛て(私経由)に送ってくれた 4 枚の 1984 年 6 月 25 日前後の写真(2017 年 1 月 21 日受取り)。(その 1 枚に(Ms. Akima(Boulder 在住の日本人；鈴木さんの通訳)が写った写真)に日付入り)
- [14] ギネスブック掲載のなわとび記録(2019 年 11 月に私が集計)
- [15] 鈴木さん宅にある、5 回旋記録証
- [16] SADA さん情報